

福祉施設整備特別委員会 送付30-6

「箱根千代田荘」の再開を求める陳情

受付年月日 平成30年3月5日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

区民の貴重な財産である「箱根千代田荘」があまりにも長期間にわたり閉鎖したままの状況にあることから、その再開を求めて陳情いたします。

箱根千代田荘は、区の資料にも示されているとおり区民による土地の寄付により昭和のころより開設された保養所です。約19年前平成11年、千代田区は約27億円の区税を投じて都心住民が仲間や家族でやすらぐ温泉として保養所を再整備したと伺います。

その完成から20年も経過していない状況の中で、千代田荘を閉鎖したまま、あまりにも長い年月が経っています。

改修費用がかかる、次期借り受け事業者がいないなどの理由で、区はいつか箱根千代田荘の廃止と売却を決定されましたが、区議会ご当局の判断で、廃止売却をせずに区民が利用できる施設としての再開を検討させるに至ったと伺っております。

同様の箱根強羅に立地する新宿区立の「箱根つつじ荘」は、財政状況も千代田区よりはるかに厳しい状況がある中で、区民保養所として変わらぬ区民サービスを継続しています。

他区の同様の施設の運営方法なども調査しながら、区民の保養所として継続されることをお願いします。

年齢を重ね、身体に不自由をかかえるものや、障がいを持つ者にとって、慣れ親しんだ区民の保養所は、バリアフリーであることはもちろん、利用しやすさや安心感や使いやすさがあります。今後においては、健康づくりの場をつくり、高齢者の介護予防などのコーナーがあれば、さらに区民の健康づくりと交流の場になると思います。

「箱根千代田荘」(原文ママ)を区民の保養所として早期に再開することを前向きに検討下さるよう重ねてお願い申し上げます。

以上

平成30年3月5日

千代田区議会議長 松本 佳子 殿